

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

サントリー食品インターナショナル株式会社（証券コード:2587）

【据置】

長期発行体格付	AA-
格付の見通し	安定的
債券格付	AA-
MTNプログラム格付	AA-
国内CP格付	J-1+

■格付事由

- サントリーグループ（グループ）の中核事業会社で飲料・食品事業を担う。国内飲料業界では第2位で、主力ブランドでは「サントリー天然水」が販売数量トップ、コーヒー飲料「BOSS」が同2位を占める。海外でも欧州やアジア、オセアニア、米州など幅広い地域で事業を展開する。上場会社であるため当社はグループから一定の独立性があるが、事業面や成長戦略における一体性を踏まえ、JCRではグループを当社を含む一体で評価し、当社の格付にもグループ全体の信用力を反映させている。
- 新型コロナウイルスの影響で事業環境が悪化している。ただ、国内では多数の定番ブランドを有し、高い商品開発力を背景に持続的にシェアを向上させている。海外でも市場変化にあわせた対応でプレゼンスの維持・向上が図られている。SCMの構造革新や自販機事業の再構築など、収益性向上に向けた取り組みも進んでおり、これらは業績面のサポート要因となろう。また、引き続き、健全な財務状況を維持できると考えられる。一方、グループ全体としても強固な事業基盤が揺らぐ懸念は小さく、財務構成も順調に改善が進んでいる。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しは安定的とした。
- 営業利益（IFRS）は近年、安定して1,100億円台を維持してきた。ただ、20/12期業績は下押し圧力を受けている。外出規制の影響などで、国内では自販機やコンビニエンスチャネル、海外では業務用が減販となっている。アジアの健康食品も観光需要の減少が響いている。一方、こうした状況の中でも、量販店やECチャネルは堅調さを維持している。継続的なコスト削減の取り組みにも支えられ、20/12期も底堅く利益を確保できるとJCRでは想定している。高付加価値商品の拡販や成長エリアでの需要獲得などを通じ、収益力の一段の強化が図られるかに注目していく。
- 財務構成は良好である。有利子負債は15/12期末の4,123億円をピークに、19/12期末では2,073億円に半減した。利益蓄積も着実に進んでおり、ネットDER（親会社の所有者に帰属する持分ベース）は15/12期末の0.5倍から、19/12期末では0.1倍に低下した。現在、国内の生産能力増強やアジアの事業基盤拡充に向けた設備投資を実施しているが、このような成長投資を賄った上で財務基盤の強化が進む可能性が高い。手元現預金のほか十分な借入枠が設定されており、財務の流動性にも懸念はない。

（担当）窪田 幹也・藤田 剛志

■格付対象

発行体：サントリー食品インターナショナル株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA-	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第2回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2014年6月26日	2024年6月26日	0.700%	AA-
第3回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2018年7月26日	2021年7月26日	0.001%	AA-

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第4回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2018年7月26日	2023年7月26日	0.070%	AA-

プログラム名	Euro Medium Term Note Programme
発行限度額	20億米ドル相当額
プログラム設定日	2014年5月16日
ステータス	無担保・非劣後一般債務で、他の無担保・非劣後債務と同順位
信用補完等	なし
特約条項	ネガティブ・プレッジ条項、クロス・デフォルト条項
格付	AA-

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	2,500億円	J-1+

格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2020年7月16日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信
主任格付アナリスト：窪田 幹也
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「食品」（2011年7月13日）として掲載している。
- 格付関係者：
（発行体・債務者等） サントリー食品インターナショナル株式会社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・格付関係者が提供した監査済財務諸表
・格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■用語解説

MTN プログラム格付：プログラム格付はプログラムに対する信用格付です。個別のノートの信用力はプログラム格付と同等と判断されるケースもありますが、クレジット・リンク・ノートやエクステンジャブル・ノートなど、元利支払いが第三者の信用状況に依存するノートなどではプログラム格付と異なると判断されることもあります。JCRでは、発行体から依頼がある場合などを除き、通常、プログラムに基づき発行される個別のノートに対する信用格付は行っておりません。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラス



に登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a) 項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 **日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル